

小口さんの  
ある日のスケジュール

- 8:20 出勤
- 9:00 診療サポート
- 12:30 休憩
- 13:30 診療サポート、翌日の予約のカルテ内容確認、検査データ入力など
- 17:30 退勤

一般的には「医師事務作業補助者」と呼ばれていますが、当院では「ドクターズクラーク」と称し、診療部診療支援室に所属しています。医師が行う業務のうち、事務的な業務をサポートする職種です。配置人数、業務内容が施設基準によって定められていますが、大きく分けると、医師の指示のもとに、①診療録への代行入力、②医療文書の作成代行、③カンファレンスの準備、各種データ登録などがあります。その範囲内で、それぞれの病院のニーズに合わせた業務内容を行っており、呼称も「医療秘書」「メディカルアシスタント」など病院によって様々です。

医師と一緒に働く医療スタッフ（薬剤師や看護師など）や事務職員との連絡や調整が頻繁に発生します。このため、これらの職種とうまく関係を築くことができるような「コミュニケーション能力が求められる職種」です。

ドクターズクラークとは

当院での役割は

外来診察室でオレンジ色の服を着用し、医師の隣で診察記事や検査オーダー、診察予約オーダーなどの代行入力を行っています。また、翌日の診察準備なども行っています。別の部屋では、総合受付でお預かりした入院証明書・通院証明書などの書類の下書きや、がん登録、脳卒中発症登録などのデータ登録、カンファレンスで使用する資料の作成などを行っています。

医療事務とは違いの？

● 扱う書類の違い  
ドクターズクラークは、医師の指示のもと「診断書」や「カルテ」を作成します。一方、医療事務は、「診療報酬明細書（レセプト）」や病院経営のための「医事統計」を作成します。

● 医師との接点が多い

ドクターズクラークは「医師のサポート役」としての業務を主としており、医師と接することが多いです。一方、医療事務は、「受付・会計」といった業務もあり、その場合は患者さんと接することが多くなります。

● 実は…

ドクターズクラークは、医療事務と兼任できません。医師以外の職種の指示によって行う業務は、原則認められていないからです。

Group photo

ドクターズクラークの皆さん  
(一番左が小口さん)



今号のマイスターは…



内科外来 ドクターズクラーク 小口 ようこさん



笑顔のマイスター

第14回

マイスターに Q & A

- Q. この職種を目指したきっかけを教えてください！
- A. 以前は医療事務の仕事をしていました。そんな中、医師事務作業補助者の業務に興味を持ち、魅力を感じたのがきっかけです。
- Q. 当院で働こうと思った理由は何ですか？
- A. 複数の診療科があるため様々な疾患に関する知識を習得しつつ、チーム医療の一員として活躍したいと思ったからです。
- Q. 気分転換したいときは？
- A. 出かけることや食べることが好きなので、友人と買い物に行ったり美味しいものを食べに行ったりしています。
- Q. 自分の性格を一言で言うなら？
- A. マイペース
- Q. 今後の目標をどうぞ！
- A. 日々の業務を通じて、知識不足を実感させられることが多くあります。医師のサポートを通じて、患者さんの治療に貢献できるこの仕事に誇りを持ち、常に向上心を忘れず、日々成長していきたいです。



いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください。笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです！  
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

